

東京女子医科大学看護学会第 12 回学術集会 シンポジウム
「私たちの看護の原点とこれからの挑戦」

看護ベンチャーの挑戦

川添 高志 (ケアプロ株式会社 代表取締役)

健診を受けずに、入院した時に重篤な糖尿病を患う患者との出会いから、予防医療に関心を持ち、1年以上健康診断を受けていない健診弱者 3600 万人をターゲットに、「ワンコイン健診」を開発。指先からの採血で、HbA1c や肝機能、HDL、LDL、中性脂肪などが 10 分程度で測定でき、看護師や保健師等から健康アドバイスをする。商業施設や駅ナカでの展開を目論んだが、医師会や行政等からの圧力もあり、店舗を撤退することになった。しかし、政府の産業競争力会議において、国益に貢献する事業として、制度化が後押しされ、2014 年には、「検体測定室のガイドライン」として市場が構築された。その後、競合他社が 1000 か所以上にもなり、ケアプロでも 35 万人以上に健康の気づきを提供するまでになった。2015 年にはインドに子会社を設立し、国際保健への挑戦も始まった。一方、東日本大震災を機に、孤独死や看取り難民に直面して、訪問看護の拡充に向けた取り組みも開始した。訪問看護事業を開始して 4 年が経過し、平均年齢 29 歳の看護師が 30 名で、24 時間 365 日対応をしている。新卒看護師も採用し、教育コストを 300 万円、教育期間を 2 年間かけて、若手でも訪問看護業界に参入できるような取り組みをし、その教育ノウハウを他の訪問看護ステーションに提供している。看護の原点を大切にし、これからも挑戦は続く。

